

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付け又は施工を誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押込んでください。押込み後、固定ねじを回し、引張って抜けないことを確認してください。固定ねじで固定されていないと、本体が落下するおそれがあります。
- 電気工事は、必ず有資格者が行ってください。感電・火災・故障の原因になるおそれがあります。
- 電源線は本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認して接続してください。感電するおそれがあります。
- 電源スイッチは、本体を吊込むまでONにしないでください。誤作動によりケガをするおそれがあります。

### ■施工上のお願

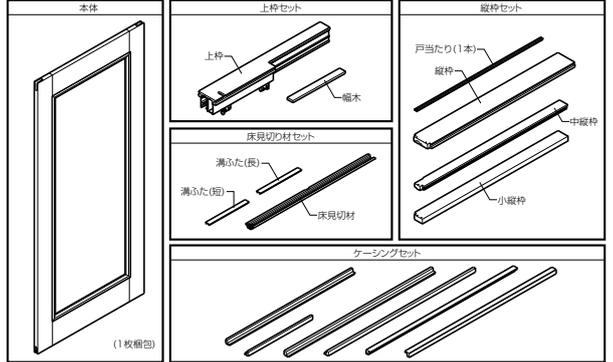
- 本製品の適用範囲は右表のようになっております。確認の上使用してください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠小口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれのある場合は防水処理をしてください。
- 本製品は上り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を増すため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。上枠の垂下がり原因になります。

#### ■適用範囲

| 製品名         | 適用壁厚      |
|-------------|-----------|
| ケーシングタイプ標準用 | 111~141mm |
| ケーシングタイプ薄壁用 | 142~182mm |

- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ず透き間を作り、かみ木を入れてください。かみ木には、合板等の乾燥剤を使い湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥剤(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 縦枠は床上面より12mm長く設定してあります。納め方により切詰めが必要になります。詳しくは下記「3 縦枠の切詰め」をお読みください。記載内容に従わないと床面と本体チリ寸法が設定通りにならなくなります。
- 枠の組立て場所は事前に清掃し、特に釘などの金属ゴミが無いことを確認してください。(ルーラー内部には磁石が内蔵されていますので、釘などが吸着するおそれがあります。)
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 本製品の組立・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- ガイドピンは「2 ガイドピンの取付け」通りに正確な位置に取付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 本体にタフロンテープ・ガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- 上枠(モーター部分)を落下させたりしないように注意してください。
- この商品は、AC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
- 手動で開閉を確認し、その時の開閉に必要な力が一定であることを確認してください。
- 戸の動作範囲および、センサーの検出範囲の障害物を撤去してください。(検出範囲は、本文中に掲載してあります。)

### ■部品・部材の梱包



#### ■縦枠セット

|       |   |
|-------|---|
| 縦枠    | 1 |
| 中縦枠   | 1 |
| 小縦枠   | 1 |
| 戸当り   | 1 |
| 部品セット | 1 |

#### ■上枠(駆動部)セット

|              |   |
|--------------|---|
| 上枠           | 1 |
| 上ルーラー(駆動部含む) | 1 |
| 磁石セット        | 1 |
| 吊り車          | 2 |
| 幅木           | 1 |
| 部品セット        | 1 |

#### ■部品セット

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 組立て・縦枠取付け用DN65φ3.8×65 | 10本  |
| 上枠取付け用φ4×65H-ラストピンねじ  | 6本   |
| 小縦枠取付け用φ4×40H-ラストピンねじ | 4本   |
| ガイドピンセット              | 1セット |
| ポリネータチューブ             | 1本   |
| フッシュボタン               | 4個   |
| 取付け説明書                | 1枚   |

#### 【床見切り材部品セット】

|                |    |
|----------------|----|
| 床見切り材用ガイドピン    | 1個 |
| 床見切り材用ガイドカバー   | 1個 |
| φ4×40Aベタピンねじ1種 | 8本 |

#### 【アシストバーセット】

|        |    |
|--------|----|
| アシストバー | 2本 |
| 取付け説明書 | 1枚 |

### ■施工手順

#### 1 開口部の確認

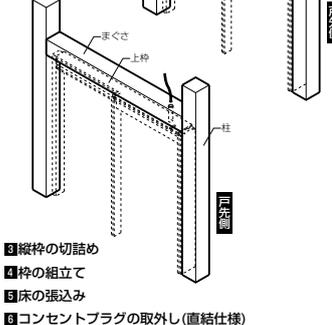
2 電源設置準備 (▲必ず有資格者が行ってください。)  
※枠の納め方(勝手、引き込み側)を確認の上、準備してください。

#### 【コンセント仕様】

※戸先側の上枠上部(斜線部)にコンセントを準備してください。

#### 【直結仕様】

※まぐさの戸先側電源線(AC100V)の準備を行ってください。

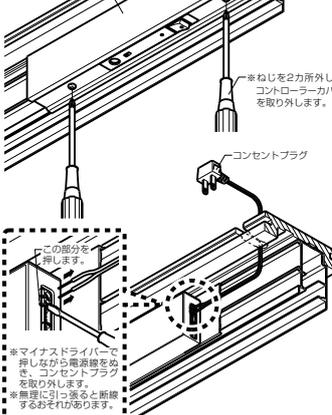


#### 3 縦枠の切詰め

#### 4 枠の組立て

#### 5 床の張込み

#### 6 コンセントプラグの取外し(直結仕様)



### ■施工詳細

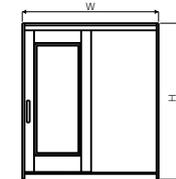
#### 1 開口部の確認

開口A寸法=製品寸法(W)+10mm  
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm  
※製品寸法は、上り方式を採用しています。はり(まぐさ)は、強度を増すため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。  
※参考納まり図・製品寸法表は本文末に掲載しています。

#### ●開口寸法



#### ●枠寸法



#### ●本体寸法

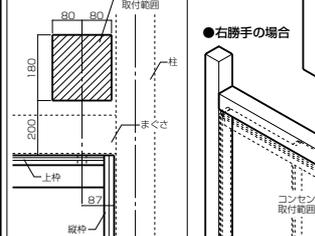


#### 2 電源設置準備

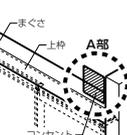
【コンセント仕様】  
※左勝手、右勝手とも下窓斜線部の範囲内にコンセントの準備を行ってください。

#### 【直結仕様】

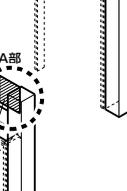
※まぐさの戸先側電源線(AC100V)の準備を行ってください。



#### ●左勝手の場合



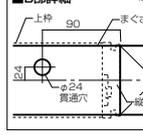
#### ●右勝手の場合



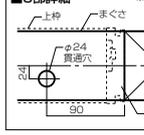
#### 【直結仕様】

※窓のように、電源線(AC100V)の準備を行ってください。  
※下図のようにまぐさの戸先側に電源線の配線用穴を加工してください。また、上枠にあらかじめ配線用穴を加工してありますので、枠の取付け時に穴位置を合わせてください。

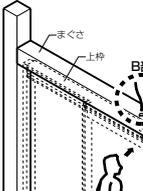
#### ●B部詳細



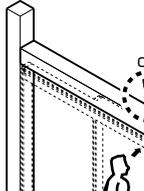
#### ●C部詳細



#### ●左勝手の場合

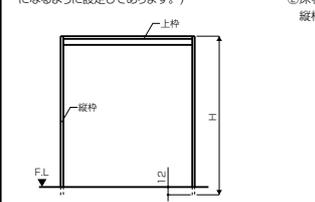


#### ●右勝手の場合



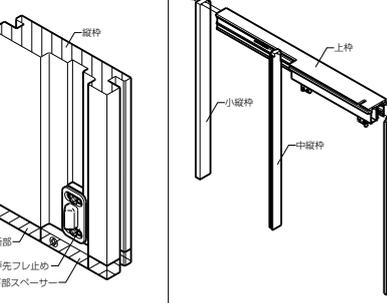
#### 3 縦枠の切詰め

●縦枠は、床上面より12mm長く設定してあります。縦枠の納め方により下端の切詰めが必要になります。(床面と本体下部のチリ寸法が8mmになるように設定してあります。)



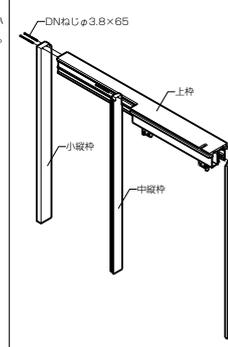
#### 2) 床先張り(枠後付け)の場合

※床見切り材を使用する場合も同じ。  
①下部スパーサーは、必要なくなりますので、ねじを外して取り除いてください。  
②床材厚さに関係なく、縦枠(中縦枠、小縦枠)下端を12mm切り詰めてください。



#### 1) 枠の組立て

●窓のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(DN65φ3.8×65)で固定します。



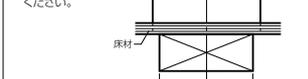
#### 3) 床の張込み

【床先張り(枠後付け)の場合】※床見切り材を使用する場合のみ  
※床材は、柱(建具芯)より引込み側に35mmあけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に35mmあけて張ってください。



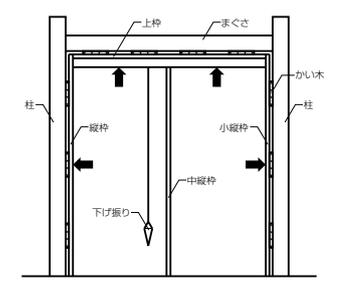
#### 【床後張り(枠先付け)の場合】

※枠取付け後、縦枠にそって床材を張ってください。



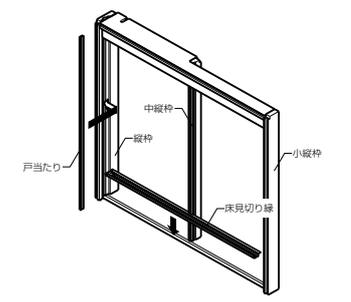
**■施工手順**

**■枠の取付け**  
 ※枠の水平・垂直を確認し、施工誤差は±3mm以下にしてください。誤動作等の原因となります。

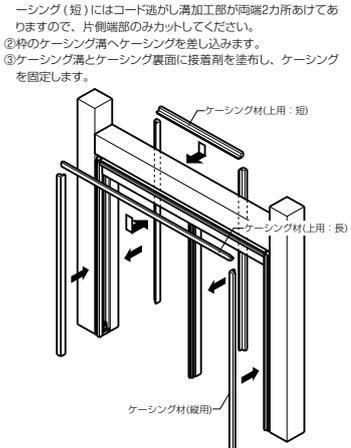


**■電源線 (AC100V) の接続 (直結仕様のみ)**  
 ▲必ず有資格者が行ってください。

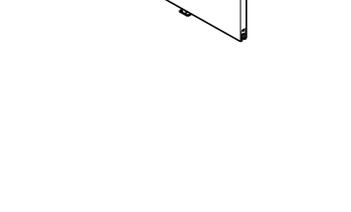
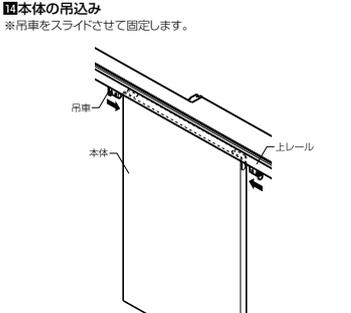
**■床見切り材の取付け (床見切り材を使用する場合)**  
 ①縦枠下部に取付けてある戸先振れ止めをいったん外します。  
 ②床見切り材に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくりに合わせます。  
 ③戸当たりと同梱のポリネートチューブ (接着剤) を付けて溝をふさぎます。  
 ④戸当たりは必ず、床見切り材取付け後に取付けてください。戸先振れ止めを取り付けます。



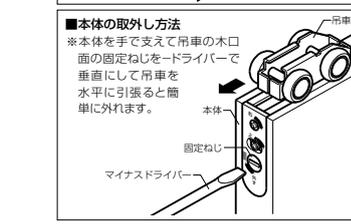
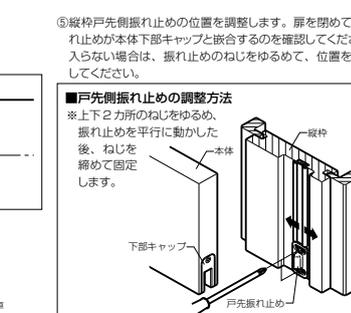
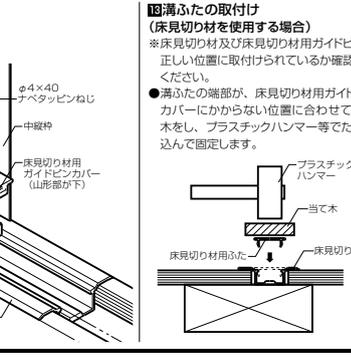
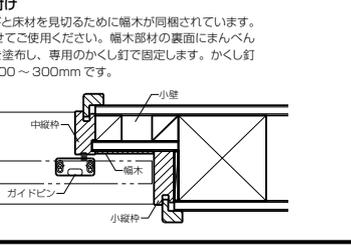
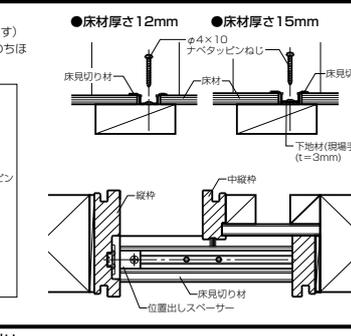
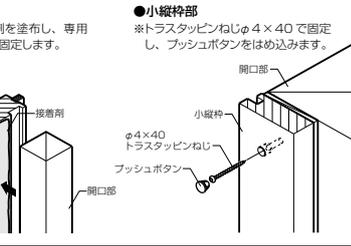
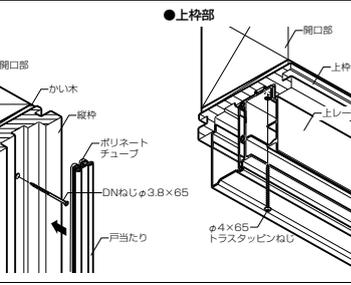
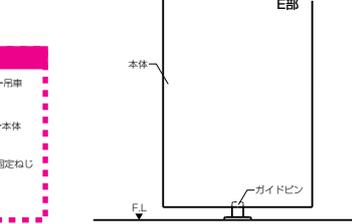
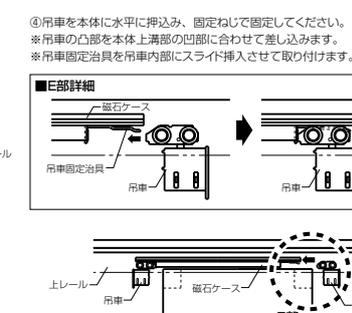
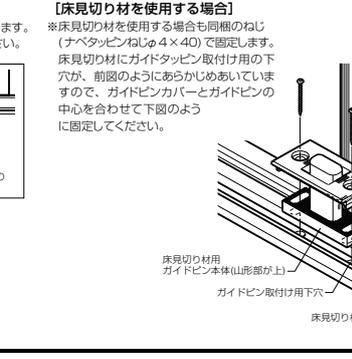
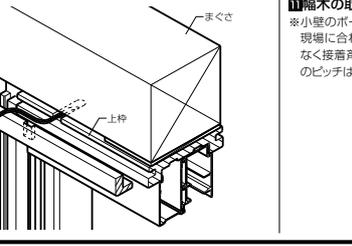
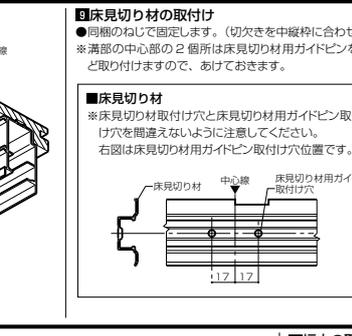
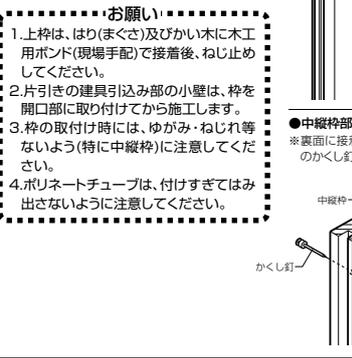
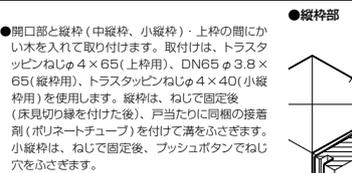
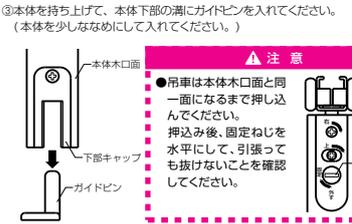
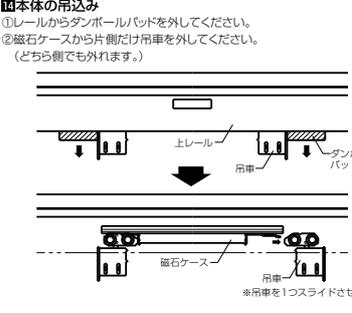
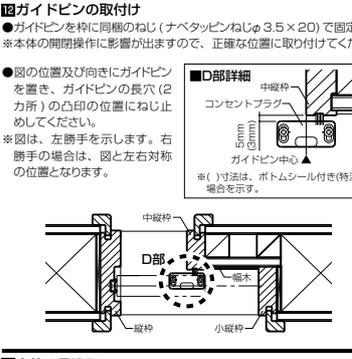
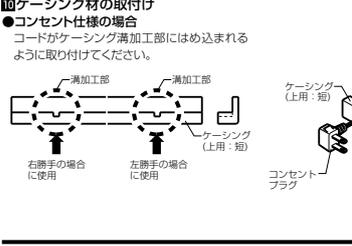
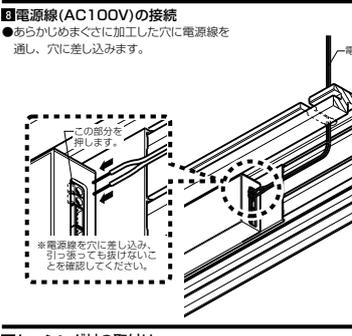
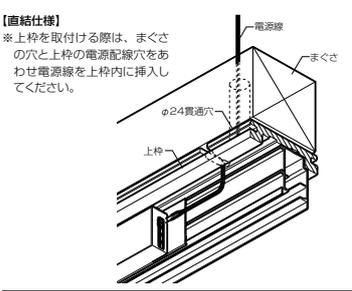
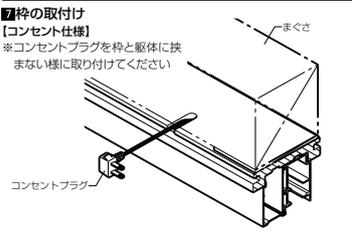
**■ケーシング材の取付け**  
 ●壁材、床材を仕上げたあと、ケーシングを取り付けます。  
 ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。横用ケーシング (短) にはコード逃がし溝加工部が両端2カ所あけてありますので、片側端部のみカットしてください。  
 ②枠のケーシング溝へケーシングを差し込みます。  
 ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。



**■幅木の取付け**  
**■ガイドビンの取付け**  
**■溝ふたの取付け (床見切り材を使用する場合)**  
**■本体の吊込み**  
 ※吊車をスライドさせて固定します。

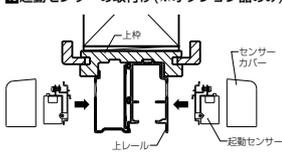


**■施工詳細**



■施工手順

1) 起動センサーの取付け(※オプション品のみ)



2) 各種調整(※本体の調整)

3) 動作確認

■施工詳細

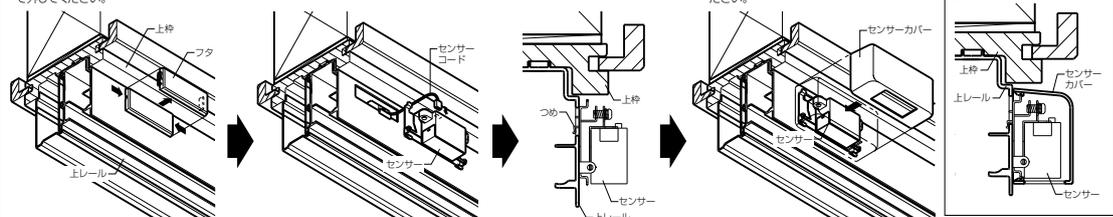
1) 起動センサーの取付け(※オプション品のみ)

①オプションのセンサーを取り付ける場合は、フタを取り外してください。  
※フタの両サイドをつかみ、若干たわませて外してください。

②フタを取るとセンサーコードが入っていますのでそれをセンサーに接続してください。

③センサー部分のつめ(2カ所)を穴に引っ掛けて下へ押し込んで取り付けてください。

④センサーを取り付けた後、カバーを上から押し付けるように取り付けてください。  
※「カチ」という音がするまで押し付けてください。



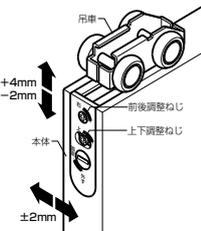
2) 各種調整

■本体の調整方法

●本体の吊車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

【上下調整(調整幅+4mm~-2mm)】

●プラスドライバーで吊車中央部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。  
※床面と本体下部とのガイド寸法は、8mmが標準です。  
※本体を下げ過ぎるとガイドベース部と本体が当たりますので、下げ過ぎないでください。



【前後調整(調整幅±2mm)】

●前後調整は中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合(標準チリ8mm)に実施してください。+ドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと左へ動きます。  
※前後調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピン及び縦枠下部の振れ止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。

■引戸ボトムシール付きの調整方法

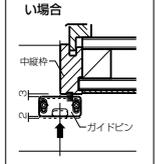
1) ガイドピンの位置調整

①図で取り付けたガイドピンのねじをゆるめます。  
※調整する際は、本体を外してください。  
②ガイドピンを中縦枠側へ2mm移動し、ねじ止めします。

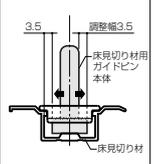
2) 床見切り材用ガイドピンの調整方法

※上記調整方法と同じになります。  
●ガイドピン取付けねじをゆるめて、床見切り材用ガイドピン本体のみを左右に動かして調整してください。

●床見切り材を使用しない場合

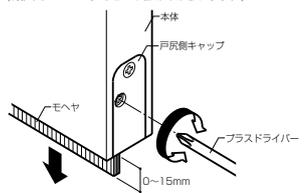


●床見切り材の場合



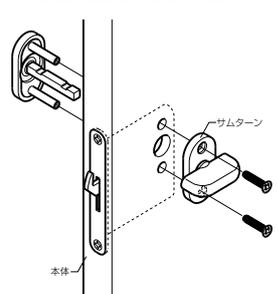
3) ボトムシールの飛び出し量の調整

※調整は本体取付け調整(特に上下調整)後に実施してください。  
①本体を吊り込んだ状態で、戸先側木口下面部キャップの穴に+ドライバーを差し込みます。内部の調整ねじを左に回し、モヘヤ部を下げます。  
②モヘヤの先端が床に接触する位置まで下げてください。(最大で15mmまでモヘヤ部は下げられます。)



■引戸錠について

●現場取付けとなります。サムターンセットと同様の取付け説明書をご覧の上、取り付けてください。



3) 動作確認 自己学習(開閉ストローク測定動作)……電源を入れると自己学習を始めます。

■準備

※自己学習を行う際、安全センサー・起動センサー(オプション)の検出範囲から離れて行ってください。(検出範囲は本文中に記載)  
・安全センサー:全開状態で感知 ・起動センサー(オプション):常時感知

①電源スイッチを入れます。

②LEDが5秒ほど点滅した後、点灯します。

③引戸を少し(1cm以上)動かします。

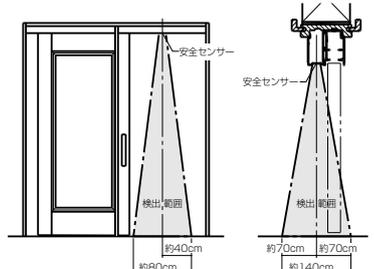
④往復運動が終了するまで引戸に触れずに待ちます。

●開方向、閉方向のどちらに動かしても対応できます。  
※図は、開方向に動かした場合です。  
※閉方向に動かした場合、全閉状態で一旦停止しますので開方向に少し(1cm以上)動かしてください。

※往復運動は、自動で1~2往復した後停止します。

■安全センサーの検出範囲

※H20規格サイズの場合



※右記状況の時は、一度電源を切り、自己学習を行ってください。

自己学習中に引戸にさわってしまった時。

引戸の動きがギコチない時。

■動作確認

■アシストバーで操作

①アシストバーを少し(1cm以上)動かしてください。あとは、自動で開きます。  
②通行後2秒又は5秒たつと自動で閉まります。

■起動センサー(オプション)で操作

①起動センサーが物体を感知すると自動で開きます。  
②通行後2秒又は5秒たつと自動で閉まります。

■起動センサーの検出範囲

起動センサーは、感知範囲を調整できます。

■センサー角度の調整

①センサーカバーを外します。  
②センサー上部のねじをドライバーで回して角度調整します。

■参考納まり図

【ケーシング付き薄壁】

●縦断面図

【床見切り材なし】

【床見切り材使用】

【ケーシング付き厚壁】

●縦断面図

【床見切り材なし】

【床見切り材使用】

●横断面図

|           |     |     |          |            |      |
|-----------|-----|-----|----------|------------|------|
| W呼び(枠外寸法) | A寸法 | B寸法 | W呼び      | W17        | W19  |
| W17(188)  | 75  | 85  | W(DW)    | 188        | 187  |
| W19(185)  | 84  | 94  | H(DH)    | (87)       | (97) |
|           |     |     | 基本寸法(mm) | 2035(1931) |      |